

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	白馬観光開発株式会社					
代表者名	氏名	荻野 正史	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県北安曇郡白馬村大字北城6329-1					
主たる事業の分類	大分類	R サービス業（他に分類されないもの）				
	中分類	95 その他のサービス業				
主たる事業の概要	スキー場の運営					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,330	2,258	972	717	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4,629	4,486	1,844	1,401	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	17		17	16	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	57		43	24	

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2021	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

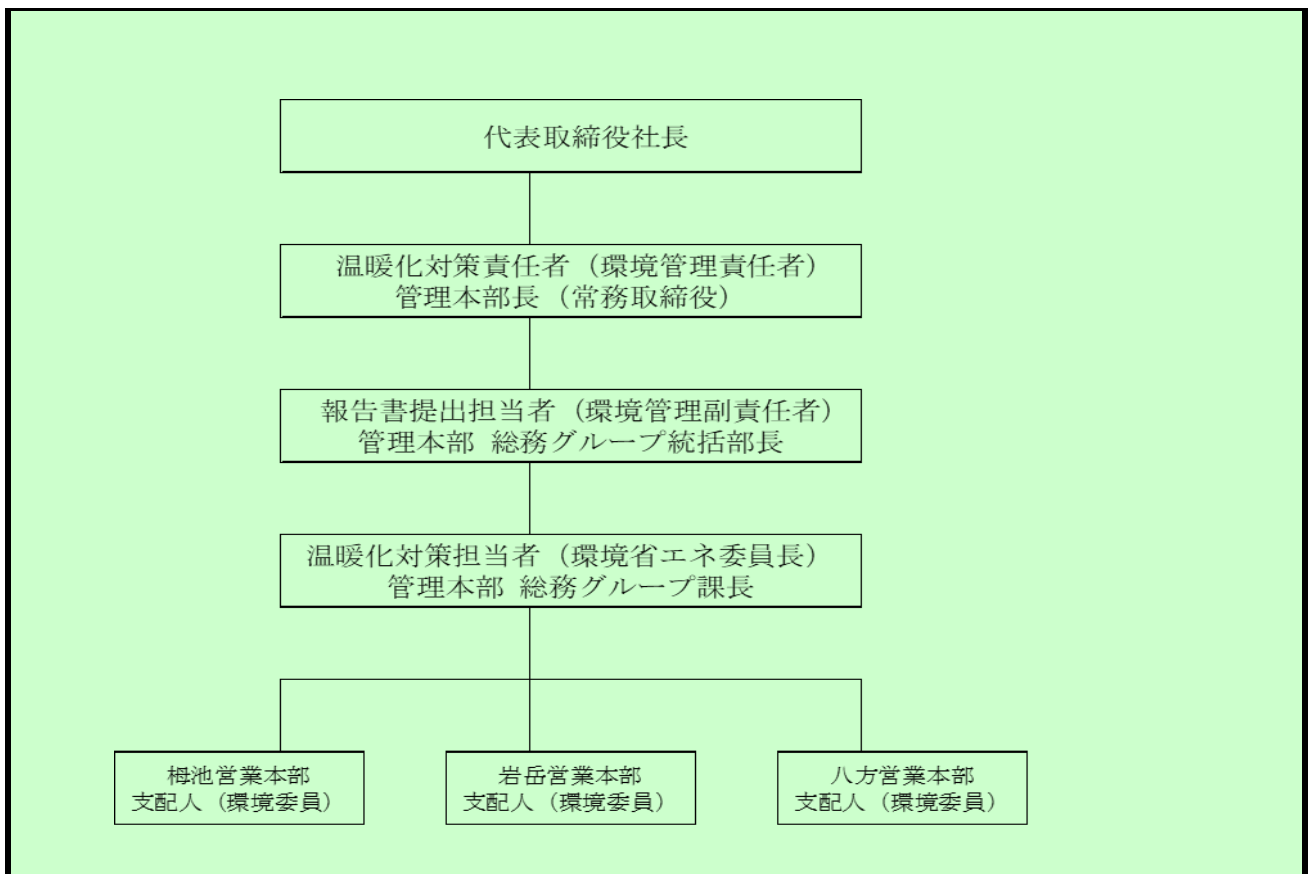
<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧場所 白馬観光開発(株)本店 対応窓口 管理部管理課 閲覧時間 10:00～16:00 連絡先 (TEL) 0261-85-7898
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

経済的、技術的に可能な限り原単位を年率1%以上低減させることを目標にして、その実現に努める。従業員の省エネ意識の向上を図り、こまめな消灯やクールビス・ウォームビズの強化を図るとともにエコドライブの実施強化等、日々の積み重ねに努力する。
機器の更新時には高効率な設備への更新を計画に基づいて実施する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境省エネ委員会
四半期毎に開催（検証結果によっては随時開催する）

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,629	t-CO ₂	ゲレンデ面積	258.00	単位	ha
2019年度	調整後排出量	4,629	t-CO ₂	基準原単位	17.94	t-CO ₂ /	ha
目標年度	目標排出量	4,486	t-CO ₂	目標原単位	17.40	t-CO ₂ /	ha
2022年度	目標削減率	3.08	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	基準年度排出量より毎年1%以上の削減をし、目標年度に於いては基準年度より3%以上の削減を目指す。						
第一年度	排出量	1,844	t-CO ₂	ゲレンデ面積	258.00	単位	ha
	削減率	60.16	%	原単位	7.15	t-CO ₂ /	ha
2020年度	調整後排出量	1,844	t-CO ₂	原単位削減率	60.14	%	
	削減率	60.16	%				
排出量等の増減理由	新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言に伴い、スキー場稼働日の大幅な減少と施設の休業及び営業自粛により、過去に例がないほどの削減になった。また、昨年10月に3社に分社したのも削減の一因となる。						
第二年度	排出量	1,401	t-CO ₂	ゲレンデ面積	258.00	単位	ha
	削減率	69.73	%	原単位	5.43	t-CO ₂ /	ha
2021年度	調整後排出量	1,401	t-CO ₂	原単位削減率	69.73	%	
	削減率	69.73	%				
排出量等の増減理由	昨年同様、新型コロナウイルス感染による緊急事態宣言等に伴い、スキー場施設や夏季営業施設の稼働日が大幅に減少した。また集客のための営業活動も自粛した結果昨年以上の大幅な二酸化炭素排出量の削減となった。						
第三年度	排出量		t-CO ₂	ゲレンデ面積		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	57	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	43	t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率	24.56	%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	24	t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率	57.89	%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	その他	稼働施設の見直しによる効率化	2020～ 2022	145		
2	エネ起	120501	モーター・ポンプの更新 7台	2020～ 2022	3		
3	エネ起	その他	リフトの更新 1基	2022	10		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	4	4,629	4	1,844	2	1,401		
合計	4	4,629	4	1,844	2	1,401		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	0	0	0	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	17	17	16	
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	白馬八方尾根及び梅池自然園の保全・保護活動の実施		平成21年から

1.5 自由記載欄

長野県SDGsの2020年度登録に向けて準備をしています。
 白馬八方尾根自然探求路の八方第二ケルン付近の蛇紋岩崩落地の植生回復を環境省、長野県、白馬村、八方区及び地元組織と一緒に保全・保護活動を行っています。
 梅池自然園の保全・保護活動も小谷村と関係団体とともにを行っています。
 自然エネルギーの利用促進を図ります。
 (岩岳スキー場において、スノーリゾートから気候変動を考える3日間：2/2～4の3日間で自然エネルギー電力を326kwh購入した)
 廃棄物の分別や削減を徹底するとともに効率の良いエネルギー消費を実施するために、日々の管理を徹底します。
 スキー場マスタープランにより施設の改善や設備の更新を実施し、エネルギー使用量の改善を図ります。